

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

5月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は823件（前月比0.5、前年同月比5.6）でした。本年の2月をピークに連続して減少しています。例年のインフルエンザ発生状況と同様に、収束にありますが地域により流行が見られます。天草（35.0）八代（22.3）からの報告が多いです。

小児科定点

（全体傾向）

報告数は4,076件（前月比0.93、前年同月比1.71）と本年2月をピークに減少傾向です。手足口病（前月比2.0）A群溶連菌咽頭炎（前月比1.6）ヘルパンギーナ（前月比1.5）が増加傾向にありますが、インフルエンザ（前月比0.5）の減少が大きな減少理由です。前年同月比ではインフルエンザ（5.6）感染性腸炎（1.4）となっています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 10件（前月比0.6、前年同月比0.4）と昨年10月をピークに減少傾向です。ほぼ収束しています。
2. 咽頭結膜熱 : 114件（前月比1.3、前年同月比1.4）で、例年と同様の傾向です。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 644件（前月比1.6、前年同月比2.8）で、例年と比較し増加傾向にあります。宇城（20.8）菊池（19.0）からの報告が多いです。5～7才にピークがあります。
4. 感染性胃腸炎 : 1,453件（前月比1.1、前年同月比1.4）で、昨年12月をピークに減少傾向にあります。有明（85.6）菊池（56.8）八代（37.8）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
5. 水痘 : 69件（前月比0.9、前年同月比1.1）で、昨年12月をピークに減少傾向にあります。1～2才にピークがあります。
6. 手足口病 : 387件（前月比2.0、前年同月比10.8）で、一昨年の流行と比べると少ないですが、増加傾向にあり注意が必要です。菊池（13.8）熊本（12.4）からの報告が多いです。
7. 伝染性紅斑 : 13件（前月比0.8、前年同月比0.1）で、昨年9月以降引き続き少数の報告が続いています。
8. 突発性発疹 : 141件（前月比0.8、前年同月比0.8）でした。5月はやや減少しましたが、通年性に発症の報告があり、やや夏に多い傾向があります。6か月～1才にピークがあります。
9. 百日咳 : 1件（前月比-、前年同月比0.5）で、菊池からの報告です。最近1年間で10件でした。
10. ヘルパンギーナ : 104件（前月比1.5、前年同月比2.4）で、例年通りピークの7月に向けて増加傾向です。天草（8.3）山鹿（6.5）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
11. 流行性耳下腺炎 : 92件（前月比0.8、前年同月比0.4）で、昨年9月より減少傾向にあります。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告数1件、熊本からの報告です。
2. 流行性角結膜炎： 報告数44件(前月比0.9、前年同月0.8)とわずかに減少しています。熊本31件の他、有明10件の報告が目立っています。年齢別では30歳台にピークがありますが、50歳以上にも散発しています。乳幼児層には報告するほどの発生はありません。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数59件(前月比1.6、前年比1.2)で、前月比、前年比とも増加しています。男女別は、男性に36件と多く見られました。年齢別は、男性は15~44歳に多く、女性は20~24歳に8件と多く見られています。地区別は、熊本が41件と圧倒的に多く、次いで有明7件、御船5件、菊池、八代、宇城に各2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数23件(前月比1.0、前年比1.4)で前月比は同数、前年比は増加しています。男女別は、女性に12件とやや多く見られています。年齢別は、男性は15~69歳、女性も15~70歳以上と幅広く見られています。地区別は、熊本が13件と多く、次いで八代5件、宇城3件、菊池2件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数7件(前月比1.2、前年比0.7)で、前月比は増加、前年比は減少しています。男女別は、全員男性でした。年齢別は、男性の20~39歳に見られました。地区別は、熊本5件、八代、宇城に各1件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数28件(前月比1.9、前年比7.0)で、前月比、前年比とも著明に増加しています。男女別は、男性が22件と多く見られました。年齢別は、男性は35~39歳に7件と多く、女性は20~24歳に3件と多く見られました。地区別は、熊本23件と多く、次いで八代、有明に各2件、宇城1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数23件(前月比1.0、前年同月比2.1)でした。0歳は報告なし。11件(47.8%)が70歳以上でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数7件(前月比1.2、前年同月比2.3)でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数0件(前月、前年同月と変わらず)でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数2件（前月比 0.3、前年同月比 2.0）でした。前月かなり増加しましたが、平年並みになりました。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数6件（前月比 3.0、前年同月比 1.5）でした。0歳1件、5-9歳2件と報告されています。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数2件（前月比 0.4、前年同月比 0.1）でした。流行の鎮静化が進んでいます。
4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月、前年同月と変わらず）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数23件（前月比 0.5、前年同月比 3.8）でした。前月より減少しましたが、まだ流行がつづき、例年より多い傾向が続いています。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	25件
3類感染症	： 細菌性赤痢	1件
	腸管出血性大腸菌感染症	1件
4類感染症	： A型肝炎	1件
5類感染症	： ウイルス性肝炎	1件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1件
	後天性免疫不全症候群	2件
	侵襲性肺炎球菌感染症	8件
	梅毒	7件